【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2003-299798(P2003-299798A)
【公開日】平成15年10月21日(2003.10.21)
【出願番号】特願2002-108308(P2002-108308)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６３Ｆ　7/02
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ａ
　Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
　Ａ６３Ｆ　7/02　３３３Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年4月11日(2005.4.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　識別情報を変動表示可能な可変表示装置と、
　遊技媒体の挙動に起因して抽選を行い、その結果に基づいて所定ラウンド数の特賞状態からなる特別遊技状態を導出するか否かを判定する判定手段と、
　前記判定手段にて前記特別遊技状態を導出することが判定された場合に、通常モードに移行するのか、又は、前記通常モードよりも価値の高い特別モードに移行するのかを決定するモード決定手段とを備えた遊技機であって、
　通常モード時においては、
　前記モード決定手段により通常モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を第１の特定の態様で確定表示し、前記特別遊技状態を導出し、その後通常モードに移行するように構成され、
　前記モード決定手段により特別モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を第２の特定の態様で確定表示し、前記特別遊技状態を導出し、その後特別モードに移行するように構成され、
　特別モード時においては、
　前記モード決定手段により特別モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を前記第２の特定の態様にて確定表示することをひかえて、前記第１又は第２の特定の態様とは別の態様で確定表示して、前記特別遊技状態がためられるように構成され、
　前記モード決定手段により通常モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を前記第１の特定の態様で確定表示し、前記特別遊技状態を導出し、その後通常モードに移行するように構成され、
　当該通常モード移行後において、前記ためられた特別遊技状態を導出可能とするとともに、
　さらに、前記特別モード時においては、
　前記モード決定手段により特別モードに移行することが決定され、前記特別遊技状態がためられた場合において、所定数の特別遊技状態がためられたか否かを判定し、
　所定数の特別遊技状態がためられた場合には、当該ためられたすべての特別遊技状態又

はためられた特別遊技状態の一部を導出することを特徴とする遊技機。

【請求項２】

前記ためられた特別遊技状態の導出を行う際には、当該導出が前記ためられた特別遊技状態の導出である旨を報知する報知手段を備えていることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。

【請求項３】

前記ためられた特別遊技状態の導出を行う際には、前記可変表示装置において、当該導出が前記ためられた特別遊技状態の導出である旨を報知する報知表示又はその旨を示唆する示唆表示を行うようにしたことを特徴とする請求項１に記載の遊技機。

【請求項４】

前記ためられた特別遊技状態の導出は、前記識別情報の変動表示を行うとともに当該変動表示が停止した際、前記識別情報を前記第１の特定の態様又は前記第２の特定の態様にて確定表示されることを契機として行われるようにしたことを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載の遊技機。